

市P連おおた

第27号

題字：太田市P連会長 石塚 克也

★発行所：太田市小中特別支援学校 PTA 連合会 ★発行責任者：石塚 克也

★編集担当：太田市P連北ブロック

・数塚本町小学校 PTA 伏島一也 ・数塚本町南小学校 PTA 山口典久 ・数塚本町中学校 PTA 室橋桃和
・強戸小学校 PTA 阿久津光義 ・強戸中学校 PTA 樋口智也 ・強戸中学校 PTA 尾内いづみ
・毛里田小学校 PTA 渡辺謙一郎 ・毛里田中学校 PTA 小暮孝宏

★印刷所：株式会社アド・レーベン

公益社団法人日本PTA全国協議会主催

三行詩市P連代表作品

小学生の部：葦川小5年 / 堀川倫太郎君

「なかなかそろわない家族/だからこそ休日に話し合える時のにぎやかさは自然と心が温まる/ぼくにとっての一番の時間だ」

中学生の部：南中2年 / 山中優芽さん

「反抗期/それがすぎたら反省期/本当はいつも言いたいありがとう」

一般の部：南小 / 渡邊久美子さん

「たんぼほの綿毛を見つけ、喜ぶ我が娘。/雑草としてたんぼほをむしり取る、私の心苦しさ。/我が家の庭は、小さな雑草畑。」

令和元年度太田市小中特別支援学校PTA連合会(以下、市P連)会長を務めます、葦川西小学校PTA所属の石塚克也です。市内PTA会員の皆様におかれましては平素より当連合会の活動に対し、多大なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成から新たな元号「令和」となりました。平成に生まれた今の子どもたちが成人する頃、日本はどのような社会になっているのでしょうか。少子化や高齢化がますます進むことで、超少子・超高齢社会になることは間違いありません。AI・IoT等の普及により雇用環境も大きく変わっているかもしれません。元号が改められたことは象徴的ですが、子どもたちは新しい時代を生きていきます。子どもたちを取り巻く環境は日々目まぐるしく変化し、少し前まで常識だった価値観や物事の捉え方が、気づけば一瞬で変わったりもします。一方で、今現在も、全国各地で発生する事件・事故、いじめの問題、暴力や虐待など、子どもたちを脅かすニュースを毎日のように目にします。さらに、大人の世界でも長時間労働や共働き世帯の増加など、生活環境の変化から子どもたちに関わる時間が減るとともに、大人たちが疲弊してきているよう



太田市小中特別支援学校PTA連合会 会長 石塚 克也

新しい時代を生きる 子どもたちのために

に感じます。

このような状況において、我々保護者は、どのようにして子どもたちや学校を支えていくべきなのでしょう。長年、PTA活動はある程度共通の義務感によって行われてきました。しかし現在は、個人の考えの多様化もあり、保護者の認識は以前とは変わりがつづいています。ご意見は様々だと思いますが、一番大事なのは、保護者同士、あるいは先生方や行政、そして地域と「協力」しながら、子どもたちが今後を必要とし、そのために何をしなければならぬかを考えていくことだと思います。四月一日の元号発表の際、「令和には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているとありました。「協力」には相互理解や相手を思いやる、心を寄せ合うことが不可欠です。

PTA活動は限られた期間の活動であり、子どもたちにより深く関わることもできる機会です。市P連では、市内の小中特別支援学校PTA(以下、単P)の代表が集まり、子どもたちの健やかな成長の支援を行えるよう単Pがより良い活動を行うために、情報交換や情報共有をします。今後とも多くの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

第67回日本PTA全国研究大会

研究課題「地域とともにある学校づくり」を目指して

「コミュニティ・スクール」という仕組みづくりを学んで 副会長 渡辺 謙一郎

講師は兵庫教育大学教授小西哲也氏で、学校を取り巻く社会環境の変化が、子どもたちの健全な育成に新たな課題をもたらしている。という課題のもと、研究内容を教示頂きました。

これからの学校教育には、地域と連携し地域とともに歩んでいく事が不可欠だという事でした。コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)という制度を使い学校のビジョンの設定から、地域の方に参画して頂き設定されているそうです。PTAの役割も、いち親として、そして地域の人間として更なる協働が必要になってくるこの事で

した。コミュニティ・スクールの既に導入しているところでは効果として、①地域に住む大人を知り交流する事が出来、その事により地域のお祭り等でも一緒に地域を盛り上げる事が出来た。②なぜ勉強する意味があるのか、地域の大人たちと学び知る事が出来た。③他者を思いやる事の大切さを知る事が出来た。④子どもたちの成長を目の当たりにして大人も学ぶ事が出来た等、子どもがどんな事を考えているのか、大人がどんな事を考えているのか、互いに理解し合える事が出来て

いるこの事でした。これからの時代、一〇〇年代時代の生涯学習 society 5.0の時代を共に考えていく事、双方にとって良い事に繋がるのかもしれない。これからの時代、教育の場をどうしていくのか、大人がリーダーシップをとり考え実行していかなければならないと強く思った研修になりました。



●母親委員会 今年の活動テーマ

「新時代を迎え、今私たちができること」

「親子関係を考える 子どもの自己肯定感に視点をあてて」

令和という新しい時代を迎えました。今年度は例年より一回少ない四回の開催ではありますが、一回一回内容を濃い、

心に残る物にしたいと考えております。

第一回は、前城西中学校校長 阿部 正先生による、「親子関係を考える」子どもの自己肯定感に視点をあてて」というテーマでお話いただきました。自己肯定感を高められるような子供との向き合い方は、①味方になつてあげる②認めてあげる③ありがとうという感謝をたくさん伝える

④話をしっかり聞いてあげるといふ事だと教えていただきました。そして、「子育ては私達親の自分育ち、自分が育つ大きなチャンスで



ある」という、とても心に響く言葉を述べられ、参加した方々も自分の親子関係を見つめ直すきっかけになったと思います。



母親委員長 田中 美穂

第三回はわくわく子育てトークキング、第四回は子育て講演会を予定しています。

昨今、子供のトラブルには家庭環境が大きく影響していると言われている。何か起きるから子供と向き合い、コミュニケーションを取っていかうというのが、今年のテーマです。限られた時間ではあ

毎月第1日曜日は おおた家庭の日

家族みんなで語り合い、楽しみあい、協力しあって家庭のきずなを深め、あたたかい家庭を育みましょう。

ぜひ、ご参加ください!

太田市小中特別支援学校PTA連合会 令和元年度 会員研修会

【期日】令和元年11月24日(日) 午後1時~午後3時45分
【会場】エアリスホール 【講師】鎌田 敏氏
【演題】大人の背中、子供たちの未来
~豊かな心を育むコミュニケーション~

【アトラクション】尾島ねぶた 講演前アトラクションでは、上州ねぶた会の皆さんが「ヤーヤード」の掛け声とともに大迫力の太鼓を披露してくれます。

こころ元気配達人として、笑顔と元気をお届けすべく、全国各地で年間約180か所の講演・研修活動を行っている鎌田敏さんは、「元気を分かち合う」楽しく、わかりやすく、ためになる!」をモットーに、毎年2万人以上の方に元気講演を配達しています。

第64回 群馬県PTA大会 沼田大会

【期日】令和元年11月30日(土) 午後12時40分~午後4時20分
【会場】利根沼田文化会館
【講師】明石 要一 氏 (●千葉敬愛短期大学学長 ●千葉大学名誉教授)

【演題】家庭・学校・地域のトライアングルで子育てをしよう
令和という時代に遅くも羽ばたいていけるよう、自己肯定感を育み未来に向かっで生きる力を育てる家庭教育とは。

【アトラクション】沼田ユネスコ少年少女合唱団

おおた 子どもたちの学び舎

～藪塚本町小学校・強戸小学校・毛里田中学校をご紹介～

太田市立藪塚本町小学校

本校は、太田市で最北に位置し、今年創立百四十六年目を迎えた歴史ある学校です。現在三十一学級、児童数九百十四名、教職員六十七名と太田市で一位、群馬県でも一、二を争うマンモス校です。

わが藪塚本町小学校のPTAの目玉となる活動は二つあります。

まず一つ目は、五月から六月の間に東毛青少年自然の家を借用して開催される「親子うどん打ち」です。この活動の良いところは親子で一緒に体験できるということと、この活動に自然の家職員の方の説明を聞いてから一斉に作り始めるのですが、粉、塩水、捏ね方：個々の絶妙（微妙？）な加減が面白く、美味しさを増すのだと思います。

もう一つの活動は、一月に行われる「ニューイヤークンサート」です。東毛地区の民間楽団である工謳吹奏楽団にご協力いただき、素敵な演奏はもちろん指揮者の体験もさせていただきます。子どもたちは運動会で披露したダンス表現を工謳吹奏楽団の演奏に変え、ステージで踊ります。大きな舞台上、元気に笑顔で踊る姿に見ている方も自然に笑顔があふれてきます。

これからも子どもたちが健やかに成長できるようPTA活動を通じ協力していけたらと思います。



前年のニューイヤークンサートの様子 (PTA本部役員談)

平成最後のニューイヤークンサート、今年も多くの方に参加して頂きました。一年生は「だんべえ踊り」、三年生は「USA」、五年生は「数小ソラン」を元一杯に踊りました。PTA本部の役員によるダンス「男の勲章」へは、先生方の参加や当日飛び入り参加の児童達が大いに盛り上げてくれました。

工謳吹奏楽団の方々による演奏は、生の演奏の迫力や、親しみやすい選曲等、毎年楽しみにしている方も多いようです。また、今回は初の試みとして、事前に抽選券を配布し、演奏会の最後にお楽しみ抽選会を行いました。



太田市立強戸小学校

強戸小学校では、JA太田市協力のもと、野菜の栽培や収穫体験を子供達が行っています。

昨年まで指導して下さいました地元の代わり、今年度は、小学校の校務員さんが栽培の指導をして下さることになりました！野菜は、なす・ピーマン・ミニトマト・かぼちゃ・きゅうりなどです。

子供達は、五月に苗を植えて、成長の様子を見ながら、草取りや追肥をおこない一生懸命育てました。七月には、収穫した野菜を使って、保護者の方と一緒に夏野菜カレーを作りました。

ここに、夏野菜カレー作りや、栽培に協力していただいた方の感想とコメントを紹介します。



初めは、包丁の握り方や動かし方も曖昧な子供達をケガさせないようにとハラハラでした。でも包丁もネコの手を守りながら器用に野菜を切れたし、指示待ちだった子供達が少しすると自分で考えて行動してくれ、俺はお血洗うから隣で流して」とか、味見では「なんかしょっぱいからもう少しお水入れてみよう」なんて声も。皆でワイワイ作った夏野菜カレーは本当に美味しくて、あっとい間に鍋は空っぽになりました。短い時間で子供達の成長が見られ本当に良い体験をさせてもらいました。

夏野菜カレー作りに参加した保護者の感想

お母さんの感想

夏野菜カレーを作る時はすごくドキドキしたけど、野菜の切り方やルーの入れ方などを覚えながら、おいしい夏野菜カレーが作れました。野菜も、自分たちで育てた時に色々なことが分かって楽しかったのも、これからはたくさん野菜を育ててみたいと思いました。

子供の感想

校務員さんの感想

子供達には、野菜もペットと同じように世話することで、育てて実を付けることを学習して欲しい。

9月からは、別の野菜の栽培を始め、11月に収穫して今度はけんちん汁作りに挑戦する予定です。



おいしいカレーできました！



太田市立毛里田中学校

卒業式

毛里田中の特色のひとつとして卒業式、入学式は対面式で行われます。卒業生をはじめ参列者全員が広い舞台を囲みます。そして学校全体で育ててきた花々が厳粛な中にも華やかな式を美しく飾ります。花々に込められた沢山の愛情に囲まれて卒業生は巣立ちます。



入学式

入学式では花道を作って新しい仲間を迎えます。たくさんのお花々に祝福される式から伝統の一つとして一年間を通してめぐる緑化の目標が継承されています。



親子奉仕作業

六月には親子そろって校庭や中庭、花壇、プランターの手入れをします。土を掘り起こし、牛糞肥料を土に十分混ぜ与え、花苗の植え付けをします。



地区文化祭

十一月に行われる毛里田地区文化祭では、生徒たちが丹精込めて育てた花苗を日ごろお世話になっている地域の方々にプレゼントします。



夏休みの水やり

夏休みには全校生徒が交代で水やりと雑草抜きをします。汗びっしょりになりながらも心を込めて花々を育てます。各家庭では当番の日をカレンダーでチェックし、家族で協力し合います。

まとめ

毛里田中学校では日常の目標に①あいさつ ②清掃 ③緑化 ④合唱の四本柱をあげています。生徒、教師、保護者、地域の方々の熱い協力と教育活動に取り組んでいます。今回は四本柱の中で最も保護者と地域の方々と一緒にしている「緑化」について紹介しました。